

## 各基本目標の測定指標について

次期教育大綱の各基本目標に設定する測定指標について、濱田県政の基本姿勢や12月県議会における議論も踏まえ、県民にとって分かりやすい、より具体的なものとするための検討を行う。

### (1) 知の分野の目標

子どもたちが社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる、基礎的・基本的な知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育む

#### <測定指標>

##### ①小・中学校

- 全国学力・学習状況調査において、小学校の学力は全国上位を維持し、更に上位を目指す  
中学校の学力は全国平均以上に引き上げる

※H31（R元）年度全国学力・学習状況調査結果（数値は全国平均正答率との差）

小学校：国語 +0.2 算数+1.7 中学校：国語 -2.0 数学 -1.7 英語 -3.6

#### 【案】

- 全国学力・学習状況調査において、  
・小学校の学力は全国上位を維持、中学校の学力は全国平均以上とする  
※H31（R元）年度全国学力・学習状況調査結果（数値は全国平均正答率との差）  
小学校：国語 +0.2 算数 +1.7 中学校：国語 -2.0 数学 -1.7 英語 -3.6
- 小・中学校ともに、全ての評価の観点で正答率を全国平均以上とする

※H31（R元）年度全国学力・学習状況調査結果

評価の観点		小学校	中学校
国語	関心・意欲・態度	60.4 (+2.8)	74.9 (-1.6)
	話す・聞く能力	73.2 (+0.9)	69.1 (-1.1)
	書く能力	55.6 (+1.1)	81.5 (-1.1)
	読む能力	82.3 (+0.6)	70.2 (-2.0)
	言語についての知識・理解・技能	52.5 (-1.0)	63.4 (-4.3)
算数 ・ 数学	関心・意欲・態度		
	数学的な考え方	63.1 (+0.9)	51.1 (+0.1)
	数量や図形についての技能	76.3 (+2.8)	58.5 (-5.4)
	数量や図形についての知識・理解	72.5 (+2.4)	69.1 (-2.2)

( ) は全国平均正答率との差

##### ②高等学校

- 高校2年生の1月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を10%以下とする  
※R元年度学力定着把握検査結果（高校3年生4月）：24.2%  
（県立高等学校のうち進学に重点を置く学校を除いた30校の平均）
- 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下とする  
※H30年度卒業生に占める進路未定者の割合：5.5%

## (2) 徳の分野の目標

社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、他者への思いやりや規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性・社会性を育む。

### <測定指標>

- 不登校児童生徒が抜かりなく学校内外の関係機関等による個に応じた必要な支援を受けられるようにすることにより、生徒指導上の諸課題（不登校、中途退学）の状況を全国平均以下まで改善させる

※H30 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

- ・千人あたり不登校児童生徒数：小中 20.9 人(全国 16.9 人)、高校 17.1 人(全国 16.3 人)
- ・中途退学率：1.7%(全国 1.4%)

### 【案】

- 生徒指導上の諸課題（不登校、中途退学）の状況を全国平均まで改善させる

※H30 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

- ・千人あたり不登校児童生徒数：小中 20.9 人(全国 16.9 人)、高校 17.1 人(全国 16.3 人)
- ・中途退学率：1.7%(全国 1.4%)

+

「横断的取組 1 不登校への総合的な対応」の指標として以下の2つを位置づける

- 新規不登校児童生徒の出現率
- 90 日以上欠席している不登校児童生徒数に占める関係機関や SC・SSW 等の相談や支援を受けている児童生徒の割合

- 児童生徒質問紙調査における道徳性等（自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神など）に関する項目の肯定的回答の割合を向上させる

※H31（R 元）年度全国学力・学習状況調査結果

- 「自分には、よいところがあると思う」： 小学校 82.7% (+1.5) 中学校 73.6% (-0.5)  
「将来の夢や目標を持っている」： 小学校 86.5% (+0.6) 中学校 75.3% (+3.8)  
「学校のきまりを守っている」： 小学校 88.3% (-1.6) 中学校 95.0% (+0.1)  
各質問に対し肯定的な回答をした児童生徒の割合（（ ）は全国平均との差）

### (3) 体の分野の目標

生涯にわたってたくましく生き抜いていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を身につけさせる

#### <測定指標>

- 小学校の体力・運動能力は全国上位に、中学校の体力・運動能力は全国平均以上に引き上げる

※令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(数値はT得点(全国平均=50))

小学校：男子 49.3      女子 50.0

中学校：男子 49.9      女子 48.8



#### 【案】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果において、

- ・ 小・中学校の体力合計点は全国平均以上とする

※令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(数値はT得点(全国平均=50))

小学校：男子 49.3      女子 50.0

中学校：男子 49.9      女子 48.8

- ・ 総合評価で DE 群の児童生徒の割合を過去4年間の平均値から3ポイント以上減少させる

※総合評価：体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価

※過去4年間の平均値：H28～R1年度における高知県のDE群の割合の平均値

小学校：男子 32% 小学女子 24%

中学校：男子 29% 中学女子 14%